

2015年8月25日

田淵電機、米国 IT 企業と業務提携 ～太陽光発電用パワーコンディショナ向けソフトウェアを開発～

田淵電機株式会社（本社：大阪市淀川区、代表取締役社長：貝方士利浩）は、米国のソフトウェア開発企業 Growing Energy Labs, Inc.（以下、GELI 社）との業務提携を決定しましたので、お知らせいたします。太陽光発電用の蓄電ハイブリッドパワーコンディショナ制御におけるソフトウェア開発を共同で実施することで、より効率的なバッテリーマネジメントシステムの開発を加速する狙いです。

当社グループは、太陽光発電の世界的な普及拡大に対応するため、パワーコンディショナの世界市場への展開を加速しております。今後、太陽光発電用パワーコンディショナ製品に対する蓄電ニーズの高まりが予想されるなかで、より高性能なシステムの開発が求められるようになってまいりました。

今回の業務提携により、エネルギーマネジメントシステムにおけるソフトウェア開発で実績のある GELI 社の技術力を活用できることから、当社グループは製品開発の幅を広げるとともに、当社グループのパワーエレクトロニクス事業ブランド「EneTelus」（エネテラス）において、より競争力の高い性能を持った製品を全世界に投入できる事業基盤の構築を推進できると考えております。

GELI 社は、経済的な蓄電やマイクログリッドシステムを運営するためのソフトウェアやビジネスソリューションを提供しています。主力製品である EOS（Energy Operating System）というソフトウェアプラットフォームにより、蓄電システム・オンサイト発電・電気自動車給電設備・ビル制御などの分散型エネルギー資産がネットワークでつなげてシステム制御の最適化を行うとともに、低価格で安心なエネルギーを提供しています。

<GELI 社の概要>

所在地：米国カリフォルニア州サンフランシスコ市
設立：2010年
代表者：社長 Dr. Ryan Wartena
従業員数：15名（2015年7月末現在）
生産品目：デマンドレスポンス、バッテリーマネジメントのソフトウェア開発、
エネルギー貯蔵に関するシステム性能評価、
収益解析・運用最適化などの支援ツールの開発